

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者様の試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 大腸癌の進行度別の発見契機に関する検討

研究の目的

青森県の平均寿命は全国最下位であり、とりわけ癌による死亡率が高いことが平均寿命に大きく影響しています。大腸癌の死亡率も全国最下位であり、40-50 歳代の働き盛り世代の死亡率が高い点も問題です。当県の問題点として、大腸癌のリスクとなる喫煙や肥満が多いことや、大腸癌検診で要精査となった後に精密検査の全大腸内視鏡検査の受診率が低いことが挙げられます。

大腸癌は早期発見ができればほぼ治癒が可能な病気であり、早期発見、早期治療により死亡率減少が期待できます。

そこで当院において大腸癌と診断された患者様について、早期大腸癌と進行大腸癌の発見契機を比較し、どのような症例が早期大腸癌で発見され、どのような症例が進行大腸癌で発見されるか検討し、それぞれの特徴について明らかにすることを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日～ 2028 年 3 月 31 日

対象となる方： 2019 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの期間、附属病院を受診され、大腸癌と診断された、または大腸癌の診断で附属病院へ紹介された 18 歳以上の患者様

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、性別、年齢、基礎疾患、内服薬、大腸癌家族歴、血液検査値（血算）、発見契機、腹部症状、便潜血反応の検査結果、大腸内視鏡検査の既往、大腸内視鏡検査結果について、標記研究のために利用します。

具体的には、早期大腸癌と進行大腸癌の発見契機の違いについて、統計解析的手法を用いて比較することで、明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者様／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者様の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみ

を削除する等の対応は出来かねますので，ご了承ください。

本件連絡先	消化器内科/血液内科/免疫内科 澤田 洋平 0172-33-5111
-------	------------------------------------